

せかいのあいさつ——聞いて当てよう

単元の位置	本時 I	2◎
-------	------	----

前時：—（3年 Unit I で世界のあいさつに出会っている）／次時：第2時 あいさつりレー→あいさつの旅（ブースで交わす）

この時間を3行で

① 8つのあいさつを聞いてどのカードか指さし、ジェスチャーといっしょにまねする

② 英語で言うのは太字だけ（台本の枠・読み上げ例も太字）。ほかは日本語でよい

③ ○言えなくてよい時間。聞いたあいさつのカードを指させているかを見る

本時の目標	世界にはいろいろな言語のあいさつがあることに気づき、先生が言うあいさつを聞いてどのカードかを指さしたり、ジェスチャーといっしょにまねして言ったりして、いろいろなあいさつの言い方に慣れ親しむ。 （知識・技能）
めあて	せかいの あいさつを きいて、どの カードか あてよう 
見取り	本時は見取りを記録しない（○18-28 あいさつを聞いて、どのカードか指させずに止まる子）

太字＝英語で言う／ふつうの字＝日本語でよい ・留意点 ◇全員へ ◆止まった子へ ◎記録 ○指導に生かす ▶スライド [] 紙⇒2＝2ページ目

分・形態	学習活動（S：予想される反応）	先生のことば	留意点・評価・▶〔紙〕
0-5 全体	帯：歌 あいさつ。歌（デジタル教材）。 スライドショーを始める。	T Hello, everyone! How are you? みなさん、こんにちは。	▶S1 ・歌は教材の音声を流すだけ ⇒2
5-12 全体	3年のあいさつを思い出す→先生 が8枚を1枚ずつ見せて言い、全員 でまねする。 S: アンニョンハセヨ！知って る！	T アンニョンハセヨ、まだ言える？3年生で 聞いたね。 T Listen and repeat. 聞いて、まねして。	▶S2-3〔せかいのあいさつ カード〕 ◇8つ全部を覚えなくてよい （Hello と、あと3つで十 分）と先に言う ⇒2
12-15 全体	めあてを聞く。合言葉「ちがいは おもしろい」を知る。	T 聞いたことのない音も、「ちがいは おもしろい」で聞いてみよう。	▶S4 ・合言葉は授業の前に板書 しておく（笑いが、ばかに する笑いににならない）
15-18 全体	マッチングのやり方を聞く。黒板 の8枚のカード（下に1～8の番 号）を見る→先生のあいさつを聞 いて、どのカードか指さす（番号 で言ってもよい）。	T Listen. Which card? 聞いて。どのカード？	▶S5〔活動シート2〕 ・〔あいさつマッチング〕 は先生が持つ進行シート （子どもには配らない）
18-28 全体	マッチング。先生があいさつを1 つ言う（順は自由）→全員でカー ドを指さす→ジェスチャーといっ しょにまねする。 S:（ジャンボを指さして）8ば ん！	T Let's say it together. みんなで言ってみよう。	▶S6〔活動シート2〕 ◇1つ当たるとに、ひとこ とメモの「へえ！」を1つ話 す ○指させずに止まる子を見 る（記録しない） ⇒2
28-33 全体	さかさマッチング。先生がカード の絵を指さす→全員でそのあいさ つを言う（ジェスチャーも）。 S: ナマステ！（手を合わせる）	T 先生が指さした絵のあいさつを、みんなで 言おう。	▶S7-8〔活動シート2〕 ◇言えなければ、指さしと ジェスチャーだけでよい。1 人に言わせない
33-37 全体	ALT（いなければ先生）が、英語 やフランス語がいろいろな国で話 されていることを1分で話し、世 界地図で見る。 S: アメリカだけじゃないんだ	T English is used in many countries. 英語は、たくさんの国で使われているよ。	▶S9 ・「国とことばは1対1では ない」は、さらっと1回だけ （深追いしない）
37-45 全体→ひと り	ふりかえりカードをくばり、毎時 間の欄に1行（○をつけるか、ひ らがなで1行）。	T「へえ！」と思ったあいさつを、1つ思い 出してみよう。 T Good job! See you! よくがんばりました。	▶S10-11〔ふりかえりカー ド〕 ・カードは単元を通して同 じ紙。先生が集めて第2時に くばる

第1時 見取り・板書・準備（前の日に読む面）

見取り 本時は指導に生かす見取り

本時は見取りを記録しない。
○18-28 あいさつを聞いて、どのカードか指させずに止まる子→28-33 のさかさマッチングの前に、止まったあいさつをジェスチャーつきでもう一度（その場の手立て：その子の近くでジェスチャーをつけてもう一度言い、カードを2枚だけ指して「どっち？」と聞く）
評価に入れないこと：発音の正しさ（カタカナ読みでよい）／当てた数・覚えたあいさつの数／目線・声の大きさ・挙手

展開の補足 1ページ目の「⇒2」

0-5 ・世界のあいさつの映像を見せるなら、歌に続けてここで
5-12 ◇カタカナ読みでよい。まねしようとする声を認める
18-28 ・読み上げはカタカナ読みでよい。デジタル教材の音声が使えらるなら、本物の音を先に聞かせる

板書計画

左	中：会話の型	右：へえ！
日付・だいじ めあて（Hello! の絵 をそえる） 合言葉「ちがいはお もしろい」	あいさつカード8枚（下に1～8の番号。英文は書かない）	子どもの「へえ！」を日本語で2～ 3（ボンジュールはカナダでも な ど・名前は書かない）
黒板の横：世界地図（教室にあるもの） テレビ（映すだけ）：きょうの流れ・カードの絵（指さし用） 書かないもの：当てた数・言えた数／児童の名前		

ALT

いるとき：・マッチングの読み上げ（知っているあいさつはジェスチャーつきで）。先生は子どもの指さしを見て回る
・33-37 で、英語がいろいろな国で使われていることを1分で話す
いないとき：・読み上げは先生（カタカナ読みでよい。デジタル教材の音声があれば先に）
・33-37 は先生が、進行シートのひとことメモと世界地図で話す
ALT に頼まないこと：Please don't correct students' pronunciation. Please don't ask students which countries they have visited.
評価は担任がします。ALT に記録はつけてもらいません。

この時間の配慮 3つの点検

家：外国にルーツのある子のことばは、事前に本人と相談してから扱う（家のことばを全体の前でたずねない）
くらべる：当てた数・言えたあいさつの数をくらべない（クラス全体で「言えた」を喜ぶ）
目立つ：マッチングは全員で指さし、全員で言う。本人が望まない限り、1人に発音のお手本や先生役を頼まない
単元計画の配慮①：発音の「正しさ」を求めない（カタカナ読みで堂々と。まねしようとする姿がゴール）
単元計画の配慮③：外国にルーツのある子がいる場合は、事前に本人と相談してから（その子の言語を扱うのは本人が望むときだけ。無断で注目を集めない）

時間が足りないとき

削る順：①さかさマッチング（28-33）を切り、33-37 へ（▶S9 へ）
②マッチング（18-28）は4つのあいさつ（Hello と、あと3つ）で削らないもの：マッチング（あいさつを聞いて、どのカードが当て
る場面）
前の時間が終わっていないとき：単元のはじめの時間。年度ははじめの行事で短いときは、5-12 を4枚にして、マッチングも4つのあいさつで

準備物

- ☐ [せかいのあいさつカード] 提示用1部（黒板に貼る・下に1～8の番号）
- ☐ [活動シート2] 先生用1部
- ☐ 世界地図（教室にあるもの） 1
- ☐ [ふりかえりカード] 人数分（この時間にくばる・単元を通して同じ紙）